

令和3年度 第2期第3回美瑛町共有ビジョンまちづくりワークショップ 議事録

日時：令和4年1月20日（木）
午後6時から午後9時まで
場所：美瑛町役場4階委員会室

参加者

- ・町民9名 職員8名 計17名
- ・(有)イーズ 枝廣氏 他1名
- ・まちづくり推進課職員3名

1 開 会

2 あいさつ

3 ワークショップ

(1) 一言チェックイン

- ・ワークショップに対する意気込みを一人ひと言ずつ発表する。

(2) グループワーク（枝廣講師より）

- ・前回と同様に以下のステップに沿って、ビジョン4・5についてのワークショップを行い、ビジョン5から年代別でグループを構成する。
- ・他自治体のシステム思考を用いた好（悪）循環ループ図の説明を受け、ビジョン5をテーマに好循環ループ図の作成をする。
- ・まちづくりの3ステップ
ホップ：ビジョン（バックキャストイング）→第1期
未来の望ましいまちの姿を描く
ステップ：つながり（システム思考）→第2期
つながりをたどって現状の構造を理解し、望ましい好循環を描く
ジャンプ：変化（プロジェクト）
悪循環を断ち、好循環を強めるプロジェクトを立案・実行する

ビジョン4：ライフラインが確保され、災害に負けない強さとしなやかさを備えるまち

- ・十勝岳噴火やあらゆる災害に対応できる最新技術を取り入れたインフラ環境を整備するとともに、防災・減災についてみんなで考え行動するまち

ビジョン5：豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち

- ・十勝岳連峰の裾野に広がる豊かな環境を守りながら、エネルギーを自給し、資源と経済を循環できるまち

目的：①進捗を測る指標づくり ②具体的な取り組みの案づくり

ステップ1：ビジョンが実現しているようすの具体的な描写をいくつも考える。

20年後の美瑛町を見据えて、想像力を働かせながら、町外者や子供など様々な立場・角度から考える。

ステップ2：ビジョンが実現した際に、増えているもの、減っているものを考え、指標（ものさし）案をつくる。

ステップ3：その実現につながるプロジェクトや取り組みのアイデアを幅広く出す。

(3) 一言チェックアウト

・本日のワークショップを振り返り、一人一言感想を発表する。

4 その他

・次回は旭交流センターにて2月23日（水）に開催予定。

5 閉会